

政策シート

(政策名) 市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進
(予算費目名) 浜北区役所費

(総合計画体系)

「分野」	地方自治・都市経営
30年後の姿	協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策 だれもがいきいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現

◇政策の概要

魅力ある副都心の形成や、歴史・文化を活かしたまちづくりなど、市民協働の手法により、区の個性発揮に向けた施策を実施し、市民に身近な行政サービスの窓口としての区役所、協働センターの管理等を行う。
具体的な事業は次のとおり
①区管理運営事業、②協働センター管理運営事業、③収入印紙売りさばき事業、④区協議会運営事業、⑤地域力向上事業、⑥行政連絡文書配布事業、⑦自治会振興事業、⑧遠州はまきた飛竜まつり開催事業、⑨浜北万葉まつり開催事業

◇関連するSDGsのゴール

④教育	⑩実施手段								
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	236,896	349,278	237,641	225,965	266,964
決算	208,668	327,488	219,039	207,634	
人件費(A)	151,200	149,980	149,980	149,980	149,980
報酬(B)	1,140	1,049	1,144	1,183	1,601
年間経費(予算又は決算+A+B)	361,008	478,517	370,163	358,797	418,545

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
「市民アンケート調査」(広聴広報課)における浜北区の「住んでいる地域の住みやすさ」	点	6	目標	6	6	6	6	6
			実績	7.2	7.2	6.6	7.4	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

魅力ある副都心の形成や、歴史・文化を活かしたまちづくりなど、市民協働の手法により、区の個性発揮に向けた施策を実施し、市民に身近な行政サービスの窓口としての区役所、協働センターの管理等を行う。
具体的な事業は次のとおり
①区管理運営事業、②協働センター管理運営事業、③収入印紙売りさばき事業、④区協議会運営事業、⑤地域力向上事業、⑥行政連絡文書配布事業、⑦自治会振興事業、⑧遠州はまきた飛竜まつり開催事業、⑨浜北万葉まつり開催事業

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 進んでいる
浜北区は、平成23年度から平成30年度の間に都市基盤の整備も進み、区内人口も5,800人増加している。(H23.4月 93,534人 H31.3 99,379人)
平成28年10月から、区役所機能をなゆた・浜北内に移動し、利用者の利便性等を図っている。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	区管理運営事業					194,308	120,028	8.4	3.6		0.9	
2	協働センター管理運営事業					86,396	37,376	6.9	0.2			
3	収入印紙売りさばき事業					15,902	13,802	0.3				
4	区協議会運営事業					6,324	163	0.6	0.1		1,601	
5	地域力向上事業		〇〇			15,812	13,712	0.3				
6	行政連絡文書配布事業					40,475	37,395	0.4			0.1	
7	自治会振興事業					43,360	32,020	1.5			0.3	
8	遠州はまきた飛竜まつり開催事業(負担金)					11,968	8,468	0.5				
9	浜北万葉まつり開催事業					4,000	4,000					
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						418,545	266,964	18.9	3.9		1.3	1,601

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 区管理運営事業

◇事業目的・事業対象

市民に身近な行政機関として、総合的な行政サービスを提供するため、区役所機能の整備、維持管理等を行う。

◇事業の概要

- (1) 区役所運営事業
 - ・区役所の行政サービスを円滑に実施するために必要な事業を実施する。
- (2) 公有財産維持管理事業
 - ・浜北区内の公有財産を適切に管理するために必要な事業を実施する。
- (3) 庁舎維持管理事業
 - ・浜北区役所としての庁舎を市民が快適、安全に使用していただくために必要な事業を実施する。
- (4) 公用自動車管理事業
 - ・公用車を安全に運行するために必要な事業を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	76,105	180,862	104,734	101,010	120,028
	決算	57,369	165,820	92,107	86,921	
	国・県支出					
	市債					
	その他	221	815	794	918	916
	一般財源	57,148	165,005	91,313	86,003	119,112
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		74,900	74,280	74,280	74,280	74,280
人工	正規	10.7	8.4	8.4	8.4	8.4
	再任用(h31)		3.6	3.6	3.6	3.6
	再任用(h26)					
	非常勤		0.9	0.9	0.9	0.9

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
「市民への約束アンケート」浜北区各課の平均点(点)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	4	4	4	4	4	4	4	
実績値	4.33	4.28	4.31	4.44				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- (1) 区役所運営事業
 - ・区役所の行政サービスを円滑に実施するために必要な事業を実施する。
- (2) 公有財産維持管理事業
 - ・浜北区内の公有財産を適切に管理するために必要な事業を実施する。
- (3) 庁舎維持管理事業
 - ・浜北区役所としての庁舎を市民が快適、安全に使用していただくために必要な事業を実施する。
- (4) 公用自動車管理事業
 - ・公用車を安全に運行するために必要な事業を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・区役所のさまざまな事務を支え、来庁者に快適に用務を行っていただくことができた。
- ・コスト意識を持ち、より経費削減に努める。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

区役所での代表電話及び来庁者の案内業務委託等により、移転後の庁舎内の案内をわかりやすく行うことができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、来庁者に快適に用務を行っていただくため必要な事務改善等を行っていく。

事業シート (事業名) 協働センター管理運営事業

◇事業目的・事業対象

各種講座・教室等を通じ、市民に生涯学習の機会を提供する場としての機能の強化、維持管理を行う。

◇事業の概要

協働センター運営のための維持管理に要する経費
・協働センター4館及び付設体育館1館の管理運営経費

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S60	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市協働センター条例	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	36,067	34,719	33,882	34,798	37,376
	決算	30,872	32,137	31,636	32,908	
	国・県支出					
	市債					
	その他	5,244	5,092	5,000	5,706	6,274
	一般財源	25,628	27,045	26,636	27,202	31,102
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		48,300	49,020	49,020	49,020	49,020
人工	正規	6.9	6.9	6.9	6.9	6.9
	再任用(h31)		0.2	0.2	0.2	0.2
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	○ 17.17
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

協働センターを地域のコミュニティづくりの拠点として、自治会や地域住民の地域づくりに関わる活動を支援し、コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくりの推進を図っている。さらに地域の学習拠点として、地域のニーズに応じた学習機会の提供やイベント開催等により、地域住民との交流を図りながら生涯学習を推進している。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
利用者数の拡大(平成26年度を基準として毎年度1%の増) ※H26 119,859人					-		-	-
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	101	102	103	104	105	108	110	
実績値	111	103	99	98				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
協働センター(貸館)の利用率(%)					-		-	-
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	-	-	52	53	54	55	55	
実績値	52	56	55	51				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

協働センター運営のための維持管理に要する経費
 ・協働センター4館の管理運営経費

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・各種教室、講座等を開催するなど、地域における生涯学習の拠点となっている。
- ・施設の老朽化が進んでいるため、長寿命化のためにも優先順位をつけて施設の改修を行っていく必要がある。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・浜名協働センターのホール音響機器取替工事、鹿玉協働センターのガスオープンレンジ取替工事等、施設の整備を実施したため、利用者の利便性が向上した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・各種教室、講座等を開催するなど、地域における生涯学習の拠点となり、生涯学習を推進していく。
- ・施設の老朽化が進んでいるため、今後も長寿命化のため優先順位をつけて施設の改修を行っていく。
- ・地域コミュニティづくりの拠点として地域づくり活動を支援していく。

事業シート (事業名) 収入印紙売りさばき事業

◇事業目的・事業対象

静岡地方法務局が浜北区役所庁舎内に設置した登記事項証明書発行請求機による利用者の利便を図るため。

◇事業の概要

登記事項証明書等の手数料納入に必要な収入印紙を、市が郵便事業株式会社から買い入れ、利用者に対して売払う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H21	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	10,000	12,147	11,480	13,802	13,802
	決算	9,851	12,147	11,480	13,796	
	国・県支出					
	市債					
	その他	9,667	11,567	11,480	12,372	13,802
	一般財源	184	580		1,424	
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

登記事項証明書等の手数料納入に必要となる収入印紙を、市が郵便事業株式会社から買い入れ、利用者に対して売払う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・法務局が行う登記事項証明とセットの事業で、単に収入印紙を仕入れ売却する事務であり、浜北区役所内にはこの事務の受け皿となる団体もないため廃止は困難。
 ・宅地分譲地の販売等により、不動産売買や不動産登記のために法務局利用者が増加し印紙販売件数が増加している。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

過去からの売りさばき実績や近隣での宅地分譲等の情報収集を行いながら、効果的な収入印紙の販売に努め
利用者のサービス向上に繋がった。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

法務局利用者が引き続き区役所にて印紙を購入することができるよう、売りさばき事業を継続する。

事業シート (事業名) 区協議会運営事業

◇事業目的・事業対象

浜北区協議会が円滑に運営できるように、必要な経費を確保する。

◇事業の概要

- ・浜北区協議会の開催 月1回以上
- ・区協議会等会長会議などへの出席
- ・区協議会だよりを広報紙で編集する

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	—	一般会計	自治事務(法令義務)	地方自治法第252条の20第6項、浜松市区及び区協議会の設置等に関する条例第4条	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	207	207	164	164	163
	決算	143	113	94	76	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	143	113	94	76	163
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)		1,140	1,049	1,144	1,183	1,601
人件費 (千円)		7,000	4,560	4,560	4,560	4,560
人工	正規	1.0	0.6	0.6	0.6	0.6
	再任用(h31)		0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	○ 17.17
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

区協議会は、地域を支える人々や地域に根ざした諸団体の主体的な参画により、地域住民の意見を行政運営に反映させ、地域における市民協働を推進し、住民自治の充実を図るために設置されている。地域の住民や諸団体などの多様な意見や課題、情報等を収集、調整する機能を備えており、住みよいまちづくりの一端を担っている。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
区協議会の開催回数(回)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	12	12	12	12	12	12	12	
実績値	12	11	12	12				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・浜北区協議会の開催 月1回以上
- ・区協議会等会長会議などへの出席
- ・区協議会だよりを広報紙で編集する

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・市から諮問、報告された案件に対し、地域の意見を発信することができた。
- ・地域住民の意見を行政運営に反映させるため、地域課題の掘り起こしを積極的に行う。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今年度も市からの諮問、協議、報告等に対し、委員からは活発な意見が出され、地域の声を発信する事が出来た。

また、市・区の施策等についても意見交換を行い、地域課題の掘り起こしをする事ができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、地域住民を始め、自治会、各種団体などからの多様な声を施策に反映させるとともに、地域における市民協働を推進していくために区協議会を運営していく。

事業シート (事業名) 地域力向上事業

◇事業目的・事業対象

市民協働の手法により住みよい地域社会を実現するため、区の特性を活かした事業や区の課題を解決する事業を実施又は支援する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.191】

(1) 市民提案による住みよい地域づくり助成事業

団体の提案に基づき、市が公益上の必要を認め、団体が主体的に取り組む事業に対し市から補助金を交付することで、効果が期待できる事業

(2) 区民活動・文化振興事業

地域の活性化や文化振興のため、市民協働の観点を取り入れて実施する事業

(3) 区課題解決事業

区内の課題を解決するため、市民協働の観点を取り入れて実施する事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H22	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市地域力向上事業実施要綱ほか	—	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	18,776	17,971	17,860	16,550	13,712
	決算	16,114	16,410	16,494	15,907	
	国・県支出					
	市債					
	その他	16,114	13,439	13,880	11,809	8,750
	一般財源		2,971	2,614	4,098	4,962
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		1,400	2,100	2,100	2,100	2,100
人工	正規	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	○ 17.17
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

この事業は市民協働の手法により住みよい地域社会を実現するため、区の特性を活かした事業を実施・支援し、また区の課題を解決するための事業を実施するものである。事業や支援を通して地域コミュニティづくりや安全安心な地域づくりに取り組んでおり、住みよいまちづくりや地域の活性化、文化振興に貢献している。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
地域力向上事業実施件数(件)					-		-	191
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					20	20	20	
実績値	17	18	17	20				

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- (1) 市民提案による住みよい地域づくり助成事業
団体の提案に基づき、市が公益上の必要を認め、団体が主体的に取り組む事業に対し市から補助金を交付することで、効果が期待できる事業
- (2) 区民活動・文化振興事業
地域の活性化や文化振興のため、市民協働の観点を取り入れて実施する事業
- (3) 区課題解決事業
区内の課題を解決するため、市民協働の観点を取り入れて実施する事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・助成事業11件を採用し、区民活動・文化振興事業6件、区課題解決事業3件を実施したことで、数多くの地域課題の解決に役立った。
- ・また、みどりのまち浜北に関連する事業、浜北駅前の活性化に関連した事業も多く実施され特色ある区のまちづくり・魅力あるまちづくりの実現に資することができた。
- ・平成29年度は浜北副都心にぎわいおもてなしフェスタが台風により中止となったが、平成30年度は天候に恵まれ多くの人出や地元商店街の出店等で賑わった。
- ・市民活動団体に広く宣伝し、地域の課題解決に繋げる。
- ・暮らしやすく、活力ある地域づくりを目指すため、地域課題の掘り起こしが必要である。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

助成事業は11件を採択し、予算執行率は88.1%であった。過去2年度と比較して執行率を上回ることができた。
(H28/61.5% H29/86.8% H30/88.1%)

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・助成事業については、広報やチラシを作成することで広く団体等に周知していく。
- ・地域課題について、積極的にコミュニティ組織から意見を聴取する。

補助シート (事業名) 地域力向上事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
191	公益性のある以下の事業に対して助成等を行う。 ・市民提案による住みよい地域づくり助成事業 ・区民活動・文化振興事業 ・区課題解決事業	公益性のある以下の事業に対して助成等を行う。 ・市民提案による住みよい地域づくり助成事業 ・区民活動・文化振興事業 ・区課題解決事業	公益性のある以下の事業に対して助成等を行う。 ・市民提案による住みよい地域づくり助成事業 ・区民活動・文化振興事業 ・区課題解決事業	公益性のある以下の事業に対して助成等を行う。 ・市民提案による住みよい地域づくり助成事業 ・区民活動・文化振興事業 ・区課題解決事業
〇〇				

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

事業シート (事業名) 行政連絡文書配布事業

◇事業目的・事業対象

広報紙等行政連絡文書の配布と軽易な調査等を浜北区自治会連合会に委託する。

◇事業の概要

- ・広報紙等の行政連絡文書を広報等配布責任者毎に仕分け・調整する。
- ・広報紙等の行政連絡文書を自治会が指定する場所(配布責任者宅等)に配達する。(市→自治会)
- ・広報紙等の行政連絡文書を浜北区自治会連合会が各世帯へ配布する。(自治会→各世帯)
- ・軽易な調査等を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	30,686	32,170	32,776	32,950	37,395
	決算	30,370	30,999	31,843	32,689	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	30,370	30,999	31,843	32,689	37,395
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		4,900	3,080	3,080	3,080	3,080
人工	正規	0.7	0.4	0.4	0.4	0.4
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤		0.1	0.1	0.1	0.1

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	○ 17.17
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

広報はままつやその他行政連絡文書は市の重要な施策や情報を市民に知らせるために必須のものである。これらを円滑かつ正確に配布する事で市民が生活に必要な情報を得る事が可能になり、また自治会単位で配布等を行う事で地域コミュニティの活性化にも寄与している。また軽易な調査を実施する事で地域住民のニーズが把握でき、安全で安心なまちづくりにも役立っている。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
行政連絡文書配布事業達成率(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	100	100	100	100	100	100	100	
実績値	100	100	100	100				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・広報紙等の行政連絡文書を広報等配布責任者毎に仕分け・調整する。
- ・広報紙等の行政連絡文書を自治会が指定する場所(配布責任者宅等)に配達する。(市→自治会)
- ・広報紙等の行政連絡文書を浜北区自治会連合会が各世帯へ配布する。(自治会→各世帯)
- ・軽易な調査等を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

浜北区内の各世帯に広報紙等の行政連絡文書の配布等が実施できた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

浜北区内の各世帯に広報紙等の行政連絡文書の配布等が実施できた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、行政連絡文書の配布等を浜北区自治会連合会へ委託する。

事業シート (事業名) 自治会振興事業

◇事業目的・事業対象

浜北区内の自治会活動の円滑な実施のため、自治会・町内会のコミュニティ施設の建設等に対して補助をする。また、防犯灯の設置、維持管理費についても補助する。

◇事業の概要

(1)自治会集会所整備費助成事業
 ・コミュニティづくりを推進するため、自治会集会所整備事業費補助金交付要綱に基づき浜北区の自治会・町内会に対し補助金を交付する。

(2)防犯灯設置維持管理費助成事業
 ・夜間における犯罪の防止及び交通安全を図ることを目的として、自治会・町内会が区域内に設置または維持管理する防犯灯に対して補助する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20	—	一般会計	自治事務(その他)	補助金交付規則、浜松市防犯灯設置維持管理事業費補助金交付要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	56,146	62,293	27,836	16,691	32,020
	決算	55,040	60,953	26,476	15,337	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	55,040	60,953	26,476	15,337	32,020
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		9,100	11,340	11,340	11,340	11,340
人工	正規	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤		0.3	0.3	0.3	0.3

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
防犯灯新設分設置対象数(灯)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	-	-	-	209	190	190	190	
実績値	89	84	215	214				
防犯灯LED化の推進(灯) 平成29年度事業終了								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	1200	1045	668	-	-	-	-	
実績値	1543	1360	478	-	-	-	-	
自治会集会所(新築・購入・改築等)補助件数(件)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	4	4	3	-	4	4	4	
実績値	4	4	3	-				
防犯灯設置維持管理費助成事業								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
防犯灯設置維持管理費助成事業								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- (1)自治会集会所整備費助成事業
・コミュニティづくりを推進するため、自治会集会所整備事業費補助金交付要綱に基づき浜北区の自治会・町内会に対し補助金を交付する。
- (2)防犯灯設置維持管理費助成事業
・夜間における犯罪の防止及び交通安全を図ることを目的として、自治会・町内会が区域内に設置または維持管理する防犯灯に対して補助する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・今年度については、地区集会所の改修の希望が無かったが、引き続き改修に対し補助し、地域のコミュニティ活動を促進する。
- ・自治会、町内会で設置・維持管理している防犯灯の経費について補助し、犯罪の防止、交通の安全を図ることができた。
- ・平成29年度までに全防犯灯のLED化を図った。
平成30年度の防犯灯設置の実績は次のとおり
(共架式203灯、独立式11灯 合計214灯)

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・自治会が維持管理する防犯灯の設置費・維持管理経費の一部を補助することで、夜間における犯罪の防止及び交通安全を図ることができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・防犯灯のLED化は平成25年度からの5年間で実施した。今後も自治会等と連携し、新設等に対する補助を行う。

・集会所補助について平成31年度は、4自治会からの要望があり、自治会集会所整備事業費補助金交付要綱に基づき継続して自治会等に対し補助していく。

事業シート (事業名) 遠州はまきた飛竜まつり開催事業(負担金)

◇事業目的・事業対象

浜北区における市民の親睦と連帯感の高揚、地域産業の活性化及び地域文化の創造を図るため。

◇事業の概要

市民がともに楽しみ、親睦と連帯感の高揚を図るとともに地域産業の活性化と地域文化の創造を図るため、浜北凧揚げ、飛竜火まつり等の各種イベントを実施する。

遠州はまきた飛竜まつりの警備、会場設営等に対する負担金を支出する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	5,000	5,000	5,000	6,000	8,468
	決算	5,000	5,000	5,000	6,000	
	国・県支出					
	市債					
	その他	4,500	4,400	4,100	4,000	4,000
	一般財源	500	600	900	2,000	4,468
一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
人工	正規	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

関連するゴールなし

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
来場者数(万人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	
実績値	10	10	11	11				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

市民がともに楽しみ、親睦と連帯感の高揚を図るとともに地域産業の活性化と地域文化の創造を図るため、浜北風揚げ、飛竜火まつり等の各種イベントを実施する。

遠州はまきた飛竜まつりの警備、会場設営等に対する負担金を支出する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・平成30年度は、5月26日(土)、27日(日)に開催し、来場者は約11万人だった。
- ・より多くの市民をはじめ、市外からも参加してもらえるよう周知を図る。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

来場者約11万人と目標値には届かなかったが、まずまずの入込客数が確保でき、市内外に広く地域文化の情報発信をすることができた。また、地域住民の親睦と連帯感の高揚、地域産業の活性化なども図られた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

浜北区の主要イベントであり、市民協働の観点からも必要な事業であるため、浜北地域の活性化の推進と後世に伝える地域特有の伝統事業として引き続き実施していく。

事業シート (事業名) 浜北万葉まつり開催事業

◇事業目的・事業対象

万葉文化に親んでもらうとともに、特色ある地域づくりの推進と万葉の森公園を万葉文化の情報発信拠点としてアピールするため。

◇事業の概要

- ・こどもまんようまつり
- ・万葉まつり
- ・万葉コンサート
- ・早春花まつり

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H6	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	3,909	3,909	3,909	4,000	4,000
	決算	3,909	3,909	3,909	4,000	
	国・県支出					
	市債					
	その他	3,500	3,500	3,200	3,000	2,000
	一般財源	409	409	709	1,000	2,000
一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)						
人工	正規					
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.7、4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

地域特有の文化を持続可能なものとするため、子供から大人までそれぞれの年代において、地域にゆかりのある万葉集の和歌やその時代について学ぶことのできる生涯学習の機会を提供していく。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
万葉まつり来場者数(人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					6,000	6,000	6,000	
実績値	5,500	7,500	2,750	5,600				

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・こどもまんようまつり
- ・万葉まつり
- ・万葉コンサート
- ・早春花まつり

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・「こどもまんようまつり」は7月29日(日)に開催予定であったが、悪天候のため中止。
- ・「万葉まつり」は10月27日(土)~28日(日)に開催、来場者数は5,600人。25周年記念イベントを開催。
- ・「万葉コンサート」は10月27日(土)開催、来場者数は50人。
- ・「早春花まつり」は2月16日(土)~3月17日(日)に開催。
- ・地域の文化として継承するためにより多くの市民に周知を図る。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・万葉まつりの開催等で、1年を通じて「万葉の森公園」を楽しんでもうることができた。
 - ・万葉まつりにおいて、万葉衣装のリニューアルやシャトルバスの運行、高校生ボランティアを活用したPR活動等により集客を図ることができた。
- 25周年記念イベントとして、蹴鞠の作製及び展示や蹴鞠のパフォーマンス等を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・新規イベント等を検討し、またPR方法も若年層に向けSNSを活用するなど工夫していく。
- ・万葉まつりの市民協力団体等についても、新規に開拓を検討する。

政策シート

(政策名) 市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進
(予算費目名) 三大地財産区特別会計

(総合計画体系)

「分野」	地方自治・都市経営
30年後の姿	協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策 だれもがいきいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現

◇政策の概要

市と財産区の一体性の確保に努めるとともに、山林等の財産の適正な管理及び処分によって、財産区民の福祉の増進を図る。

◇関連するSDGsのゴール

⑮陸上資源									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	3,271	7,925	7,135	7,835	7,435
決算	2,387	4,666	5,400	4,502	
人件費(A)	700	700	700	700	
報酬(B)	109	164	109	103	165
年間経費(予算又は決算+A+B)	3,196	5,530	6,209	5,305	7,600

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
財産区議会、財産区議会全員協議会の開催	回	4	目標	4	5	4	4	4
			実績	6	5	5	4	
山林管理、山林施業の実施	回	2	目標	2	2	2	2	2
			実績	2	2	2	1	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

市と財産区の一体性の確保に努めるとともに、山林等の財産の適正な管理及び処分によって、財産区民の福祉の増進を図る。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
財産区の運営については、厳しいものがあるが、財産を有する限り存続するものであり、現状のまま継続するものとする。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	三大地財産区事業					7,600	7,435					165
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						7,600	7,435					165

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 三大地財産区事業

◇事業目的・事業対象

財産区議会を開催し、三大地財産区が所有する山林等の財産の適正な管理及び処分を行い、財産区民の福祉の増進を図る。

◇事業の概要

- ・財産区議会の開催
- ・財産区議会全員協議会の開催
- ・財産区有地の管理事業(山回り、枝打・下刈等)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S24		特別会計	自治事務(法令義務)	地方自治法第294条～第297条、 浜松市財産区議会設置条例	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	3,271	7,925	7,135	7,835	7,435
	決算	2,387	4,666	5,400	4,502	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	2,387	4,666	5,400	4,502	7,435
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)		109	164	109	103	165
人件費 (千円)		700	700	700	700	
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	○ 15.4
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

財産区有地の巡視活動を行い、自然環境保全、水源涵養等の公益的役割を持つ森林として育成管理する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
財産区議会の開催								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	2	3	2	2	2	2	2	
実績値	2	3	2	2				

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
財産区議会全員協議会の開催								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	2	2	2	2	2	2	2	
実績値	4	2	3	2				

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
財産区有地の管理事業(山回り)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	1	1	1	1	1	1	1	
実績値	1	1	1	1				

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
財産区有地の管理事業(枝打・間伐・下刈)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	1	1	1	1	1	1	1	
実績値	1	1	1	1				

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・財産区議会の開催
- ・財産区議会全員協議会の開催
- ・財産区有地の管理事業(枝打・下刈等)

・事業の成果と課題

指標の達成度

達成

- ・財産区議会を開催(2回、平成30年10月12日・平成31年3月11日)した。
- ・財産区議会全員協議会を開催(2回、平成30年7月6日・平成31年2月12日)した。
- ・山林管理(山回り)は雨天により中止した。
- ・山林施業(枝打・下刈)を実施(1回、平成30年10月12日~11月18日)した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

財産区有地の巡視活動を行い、自然環境保全、水源涵養等の公益的役割を持つ森林として育成管理を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

財産区有地の巡視活動を行い、自然環境保全、水源涵養等の公益的役割を持つ森林として育成管理していく。

政策シート (政策名) 市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進

(予算費目名) 四大地財産区特別会計

(総合計画体系)

「分野」 地方自治・都市経営

30年後の姿 協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。

- 10年後の目標
- ・ 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。
 - ・ 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策 だれもがいきいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現

◇政策の概要

市と財産区の一体性の確保に努めるとともに、山林等の財産の適正な管理及び処分によって、財産区民の福祉の増進を図る。

◇関連するSDGsのゴール

⑮陸上資源									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	29,226	29,161	29,441	30,053	26,212
決算	24,123	20,403	22,215	24,824	
人件費(A)	360	360	360	360	
報酬(B)	211	324	225	204	339
年間経費(予算又は決算+A+B)	24,694	21,087	22,800	25,388	26,551

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
財産区議会、財産区議会全員協議会の開催	回	4	目標	4	5	4	4	4
			実績	5	5	5	4	
山林管理(財産区有地を巡視)の実施	回	24	目標	24	24	24	24	24
			実績	24	24	24	24	
山林施業の実施	回	2	目標	2	2	2	2	2
			実績	2	2	2	2	

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

市と財産区の一体性の確保に努めるとともに、山林等の財産の適正な管理及び処分によって、財産区民の福祉の増進を図る。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

財産区の運営については、厳しいものがあるが、財産を有する限り存続するものであり、現状のまま継続するものとする。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	四大地財産区事業					26,551	26,212				339
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						26,551	26,212				339

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 四大地財産区事業

◇事業目的・事業対象

財産区議会を開催し、四大地財産区が所有する山林等の財産の適正な管理及び処分を行い、財産区民の福祉の増進を図る。

◇事業の概要

- ・財産区議会の開催
- ・財産区議会全員協議会の開催
- ・先進地視察研修
- ・財産区有地の管理事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S24	-	特別会計	自治事務(法令義務)	地方自治法第294条～第297条、 浜松市財産区議会設置条例	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	29,226	29,161	29,441	30,053	26,212
	決算	24,123	20,403	22,215	24,824	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	24,123	20,403	22,215	24,824	26,212
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)		211	324	225	204	339
人件費 (千円)		360	360	360	360	
人工	正規					
	再任用(h31)	0.1	0.1	0.1	0.1	
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	○ 15.4
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

財産区有地の巡視活動を行い、自然環境保全、水源涵養等の公益的役割を持つ森林として育成管理する。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
財産区議会の開催								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	2	3	2	2	2	2	2	
実績値	2	3	2	2				

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
財産区議会全員協議会の開催								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	2	2	2	2	2	2	2	
実績値	3	2	3	2				

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
財産区有地の管理事業(巡視)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	24	24	24	24	24	24	24	
実績値	24	24	24	24				

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
財産区有地の管理事業(枝打・間伐・下刈)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	2	2	2	2	2	2	2	
実績値	2	2	2	2				

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・財産区議会の開催
- ・財産区議会全員協議会の開催
- ・先進地視察研修
- ・財産区有地の管理事業(下刈り、間伐等)

・事業の成果と課題

指標の達成度

達成

- ・財産区議会を開催(2回、平成30年10月12日・平成31年3月11日)した。
- ・財産区議会全員協議会を開催(2回、平成30年8月8日・平成31年1月7日)した。
- ・先進地視察研修を実施(研修先:栃木県栃木市寺尾財産区/実施日:平成30年10月23日~24日)した。
- ・財産区有地を巡視(不定期に区有地を巡視し、不法投棄のゴミの回収等を実施)した。
- ・山林施業(枝打ち・間伐・下刈り)を実施(2回、平成30年9月25日~10月31日・平成31年1月28日~2月28日)した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

山林パトロール等の巡視活動を行い、区有林の管理に努めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

山林パトロール等の巡視活動を行い、区有林の管理に努めていく。

政策シート

(政策名) 市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進
(予算費目名) 赤佐財産区特別会計

(総合計画体系)

「分野」	地方自治・都市経営
30年後の姿	協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策 だれもがいきいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現

◇政策の概要

市と財産区の一体性の確保に努めるとともに、山林等の財産の適正な管理及び処分によって、財産区民の福祉の増進を図る。

◇関連するSDGsのゴール

⑮陸上資源									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	411	3,697	407	387	327
決算	225	234	227	211	
人件費(A)	700	700	700	700	
報酬(B)	116	167	121	116	183
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,041	1,101	1,048	1,027	510

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
財産区議会、財産区議会全員協議会の開催	回	3	目標	3	4	3	3	3
			実績	3	4	3	3	
山林管理の実施	回	1	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1	1	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

市と財産区の一体性の確保に努めるとともに、山林等の財産の適正な管理及び処分によって、財産区民の福祉の増進を図る。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
財産区の運営については、厳しいものがあるが、財産を有する限り存続するものであり、現状のまま継続するものとする。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	赤佐財産区事業					510	327				183
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						510	327				183

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 赤佐財産区事業

◇事業目的・事業対象

財産区議会を開催し、赤佐財産区が所有する山林等の財産の適正な管理及び処分を行い、財産区民の福祉の増進を図る。

◇事業の概要

- ・財産区議会の開催
- ・財産区議会全員協議会の開催
- ・財産区有地の管理事業(山回り)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S31		特別会計	自治事務(法令義務)	地方自治法第294条～第297条、 浜松市財産区議会設置条例	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	411	3,697	407	387	327
	決算	225	234	227	211	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	225	234	227	211	327
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)		116	167	121	116	183
人件費 (千円)		700	700	700	700	
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	○ 15.4
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

財産区有地の巡視活動を行い、自然環境保全、水源涵養等の公益的役割を持つ森林として育成管理する。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
財産区議会の開催								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	2	3	2	2	2	2	2	
実績値	2	3	2	2				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
財産区議会全員協議会の開催								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	1	1	1	1	1	1	1	
実績値	1	1	1	1				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
財産区有地の管理事業(山回り)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	1	1	1	1	1	1	1	
実績値	1	1	1	1				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・財産区議会の開催
- ・財産区議会全員協議会の開催
- ・財産区有地の管理事業(山回り)

・事業の成果と課題

指標の達成度

達成

- ・財産区議会を開催(2回、平成30年10月12日・平成31年3月11日)した。
- ・財産区議会全員協議会を開催(1回、平成31年2月8日)した。
- ・財産区有地を巡視した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

財産区有地の巡視活動を行い、自然環境保全、水源涵養等の公益的役割を持つ森林として育成管理を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

財産区有地の巡視活動を行い、自然環境保全、水源涵養等の公益的役割を持つ森林として育成管理していく。